



座談会 若手社員 CSR・環境を語る

1 CSRの取り組みを社内にPRするには

司会 / 本年2月から三菱製紙グループとしてCSRの取り組みを開始しました。事務局ではグループ社員の皆さんに取り組みを知っていただくことが大切と考えています。これまでにパンフレットの配布やホームページの立ち上げを行ってきましたが、もっと良い方法はないでしょうか。

山田 / 具体的な内容を基にPRしていくことが良いのではないのでしょうか。

今井 / CSRについて聞いたことはありましたが内容をよく理解していませんでした。紙媒体だと読まれないこともあるので、Eメール、掲示板、WEB等を活用した方が良いでしょうと思います。

伊藤 / お客様からCSRの取り組みについて問い合わせがあります。CSRは使われている用語が難しく説明に苦労します。もっとなじみやすい形でPRできると良いのですが。

末吉 / 社外からの問い合わせへの対応もあり、販売の現場でもCSRが浸透しつつあります。中期経営計画の中でもCSRプロジェクトチームを中心に全員参加にて社会貢献活動を推進しています。ですが、社内外を問わずPR活動は今後工夫すべき課題と思います。

大倉 / CSRは企業が取り組むべき社会的責任であり、今後企業が成長する中で、必要なことだと理解をしています。しかし、まだ指示されてやっている感じがあります。CSRに取り組む意義と効果について分かりやすく説明してもらえると良いのですが。

司会 / CSR委員会事務局では、具体的な例を交えた、分かりやすい情報の発信を心がけます。また、Eメールの活用等、グループ各社への情報提供の体制も検討します。

2 地球温暖化防止について

司会 / 地球温暖化に対する関心が高まっています。製造部門での対策は進んでいますが、オフィス等の業務部門と家庭部門の対策はほとんど進んでいないのが現状です。皆さんの職場での取り組みはいかがでしょうか。

伊藤 / 事務部門で可能な取り組みとして、ゴミ排出量の削減があります。電子化されていても、紙の出力が多いのが現状で、削減が進んでいません。各自が問題意識を持つ必要があります。取り組んだ結果を見えるようにすれば、取り組みに張り合いが出てくるように思います。

末吉 / ISO14001の運用を通じて消費電力の削減等に取り組んでいます。具体的には、クールビズの導入、自動販売機の照明OFF、昼休みに事務所の照明を半分消す、エレベータの使用を控えるといったことを行っています。

大倉 / 「紙会社だから紙を無駄にはしてはいけない」との社長の意見もあり、ミスコピーの裏を使用するようにしています。また、商品の搬送に使用する梱包材の再利用をしています。しかし、これら取り組みの効果が見えにくいことが問題だと思っています。

今井 / システム部からの指示で、昼休みのコンピュータの電源OFFを行いました。また、クールビズも良い取り組みだと思います。取り組みは、会社全体で一律に行うより、部や課などの小集団で特徴を生かした取り組みをする方が良いでしょうと思います。いずれにしても出来ることから実行することが大切です。

山田 / 紙の使用を減らす、照明を消すなどの取り組みを行っています。やはり、成果が見えると張り合いがあって良いのですが。

司会 / 家庭での取り組みはどうでしょうか。

大倉 / ゴミの分別や無駄な電気を使わないようにしています。着古した服等もウエスとして再利用しています。ゴミの分別を行っています。省エネのため、手動のコーヒーマシンを使っています。お湯も1杯の時は電子レンジを使用しています。

出席者プロフィール

- 三菱製紙 林材部
山田 大輔
植林地のチリに4年勤務し、FSC認証林の森林管理に関わる。現在、輸入チップ、海外・国内植林を担当。
- 三菱製紙 関連会社統括部
今井 美也子
三菱製紙と子会社を繋ぐ役割を果たす。会社法の改訂通知、月次販売データの集計等を担当。
- 三菱製紙販売 総務部
末吉 孝行
総務全般の業務と広報等を担当。環境室も兼務。
- ダイヤミック 本社営業部J・新規商材営業G 伊藤 勝人
インクジェット、新規商品に関するマーケティング、企画、販売を担当。
- ピクトリコ 大倉 史香
プロ用の高品質インクジェットペーパーに関するインターネットのオンラインショップ、ホームページの製品案内を担当。

司会:三菱製紙
CSR委員会事務局 桂 徹
経営企画部で、CSR委員会事務局、FSC森林認証等を担当。



伊藤 勝人



末吉 孝行



今井 美也子



座談会風景

今井 / こまめに電気を消すようにしています。

末吉 / ペットボトルの回収時にラベルを外したり、エアコンでなく扇風機を使用するようにしたり、スーパーの袋をゴミ袋として再利用しています。

山田 / エアコンの使用を控えています。また、省エネタイプの冷蔵庫を購入しました。しかし、どの程度の省エネ効果があるかはわかりません。

司会 / 家庭で消費電力を簡易測定できる装置(エコワット)が市販されています。試してみたいかがですか。効果を見えるようにすることにより、省エネを進める装置です。

伊藤 / 電気代、ガス代を減らすことが環境に優しいことを認識し、努めています。また、買い物袋を持参して袋をもらわないようにしています。最初は心理的に抵抗がありました。現在では慣れてきました。取り組みは習慣化することが重要です。

司会 / 皆さんの意見をまとめると、出来ることから実行すること、取り組んだ結果を見えるようにすること、取り組みを習慣化することがポイントだと思います。今後の活動の参考にしましょう。



山田 大輔

3 森林保全について

司会 / 森林を適切に管理することも地球温暖化防止にとって大切なことです。職場や家庭で「森をまもるため」に何が出来るでしょうか。

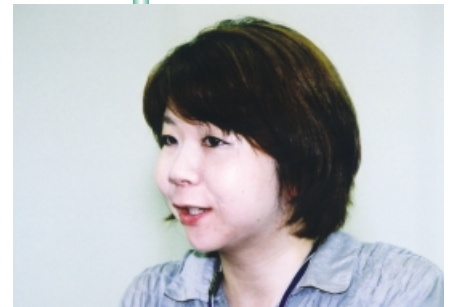
今井 / 個人で森林保全活動に参加するのは難しいので、三菱製紙グループで森林ツアーを組んだらどうでしょうか。

末吉 / 三菱製紙販売では、森林ボランティア等への参加の検討を始めています。そういった森づくりに関連するNPO活動に会社や家族で参加するのも良いと思います。当然、FSC森林認証紙の販売を通じて森林保全に役立つことも当社の役割だと思います。

司会 / 京都工場は森林ボランティア行事に参加しています。CSR委員会事務局でも、このような行事を皆さんに紹介するなど、森林に関わる手伝いをしたいと思っています。

伊藤 / ダイアミックでは、FSCインクジェット用紙の拡販に注力しています。展示会に出展したところ、来場者のFSCへの関心は高いものの、中味についてはあまり知られていないことが分かりました。FSCの認証紙が森林保全に役立つことをもっとPRする必要があります。

司会 / 地球温暖化に比べ、森林保全については職場や家庭で直接出来ることが少ないようです。むしろ、この分野では皆さんが職場や家庭で購入する紙や木材製品を通じた効果が大きいように思われます。FSC森林認証製品は「消費を通じた森林保全」に役立つ商品であり、このような商品の販売が三菱製紙グループの事業を通じたCSRにもつながることを期待しています。



大倉 史香